

春住・那珂 歴史文化遺産

はるすみ・なかに けしきぶんかいはん

ガイドマップ



なこく遺産
(史跡や古墳)

いのり遺産

保存樹

主要な交差点

みず遺産

庚申塔
(猿田彦大神・庚申尊天)

かつての台地 (推定)

川・水路

公園・みどり

みち遺産

前方後円墳

バス停

※「跡」は、現地で見ることができません。発掘で明らかになった歴史を記載しています。

博多駅へ
博多駅前線
竹下通り
さよみ通り
さよみ立橋
清水橋
那珂川
大正13年
大正2年開業
新幹線を通すため
昭和48年から
橋上駅に

竹下駅
竹下地祇神社
竹下恵比須神社
那珂八幡宮
那珂八幡宮古墳
那珂中央公園
那珂中
那珂公民館
那珂小
廣田善太郎君架之碑
廣田直次郎君架之碑

大宰府の前身「那津官家」
みやげ跡 (国史跡比恵遺跡)

福岡平野で最大級の前方後円墳
東光寺剣塚古墳 ※現在見学できません

福岡平野最古の前方後円墳
那珂八幡古墳 (市史跡)

環濠集落跡 (市史跡那珂遺跡)

那珂地域のとお寺はここだけ
大日寺

那珂と東西南北の守り神
那珂八幡宮・四方天神

商店街のそばの神様たち
竹下地祇神社・竹下恵比須神社

濠で囲まれた国内最古級の集落
環濠集落跡 (市史跡那珂遺跡)

0 100 200 500m

ゆっくりあるいて 2分 4分 10分 (目安)

デジタルマップはこちら!

Google マイマップ 更新する場合があります

このガイドマップのPDF版は「福岡市の文化財」ホームページへ!

PDF版

発行：ふくおか歴史資源活用協議会
福岡市経済観光文化局文化財活用部文化財活用課内
〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1
電話：092-711-4982 FAX：092-733-5537

このマップは、春住・那珂校区の方々との共創により作成しました。

文化庁
令和5年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業) 令和6年3月発行

1 吉塚まで続く水路のスタート地点 番托井堰

那珂川の水をせき止め、水路を通じて吉塚まで田畑などを潤すための施設です。江戸時代に堅粕村の責任者であった豊田徳作が全財産を投じてつくりました。昭和28年の水害後には中学生も加わって、一週間ほどで復旧し、田畑などを守りました。

昔は地域の人々が当番で堰を開閉していましたが、平成27年の改築により自動取水となりました。

2 地域を救った2人のヒーロー 廣田善太郎君架之碑・廣田直次郎君架之碑

廣田善太郎は、それまで土の橋だった那珂沼口橋を、明治31年に私財を投じて石橋にしました。廣田直次郎は、それまで雑木づくりで毎年作り変えていた堰を、大正10年に私財千円(現在の100~300万円)を投じて石造りにしました。

諸岡川沿いにそれぞれの顕彰碑があります。

1 大宰府の前身「那津官家」 みやげ跡 (国史跡比恵遺跡)

今から約1,500年前に、この場所に高床式倉庫が10棟あったことが発掘調査の結果わかりました。見つかった倉庫群は、厳重な柵に囲まれ整然と並んでいます。

『日本書紀』に記された「那津官家」と呼ばれた施設の一部と考えられています。

倉庫群のイメージ

1 神社のある丘は古墳? 日吉神社

比叡山ふもとの日吉大社(滋賀県)から祭神を勧請した神社です。神社がある丘は、昔の写真などでは前方後円墳のような形に見えます。神社の移設の際に、青銅製の鏡のようなものが発見されたといわれています。

2 こんなところに岡山ゆかりの神社 吉備津宮

1661年、東光寺を領地としていた宮内政盛が、故郷の岡山(吉備の国)から祭神「吉備津彦命」を迎えたといわれる神社です。岡山に吉備津神社の本社があり、九州ではここだけです。

2 福岡平野で最大級の前方後円墳 東光寺剣塚古墳 ※現在見学できません

アサヒビール博多工場の中にある、古墳時代後期(6世紀)につくられた福岡平野で最大級の前方後円墳です。古墳の長さは約75mです。三重の濠が周囲を巡り、人や馬の形をした埴輪も見つかっています。

後円部には石室があり、阿蘇石でつくられた石棺が置かれています。

古墳の石室

3 那珂地域のとお寺はここだけ 大日寺

平安時代末期に開山した那珂校区で唯一のお寺です。疫病をはらうと信仰され、昭和のはじめ頃まで各地から多くのお参りにきていたそうです。ご本尊の仏像は高さ約3mの大きな大日如来です。

4 菅原道真と来た祖先ゆかりの山浦天神

平安時代に京都から菅原道真と供に福岡にきたと伝わる山浦氏にゆかりのある神社です。今でもこの地域には、山浦氏の方が多く住んでいます。

3 福岡平野最古の前方後円墳 那珂八幡古墳 (市史跡)

古墳時代初期(3世紀ごろ)につくられた福岡平野で最も古い前方後円墳です。長さは85m、高さは8mあり、小高い丘として残っているのが後円部です。

社殿横の発掘調査では、貴重な銅鏡や勾玉などが副葬された木棺墓が見つかり、奴国の有力者が葬られたと考えられています。

21.8cm 三角縁神獣鏡

5 那珂と東西南北の守り神 那珂八幡宮・四方天神

那珂八幡宮は、那珂八幡古墳の上に建てられた神社です。拜殿に大きな絵馬を奉納する正月の行事が、今でも氏子総代によって受け継がれています。八幡宮の西側の鳥居の先には、「武内大神」の祠もあります。

八幡宮の東西南北には4柱の天神様がまつられており、四方天神と石投げ地蔵尊のおかげで那珂地域は火災が少なく戦災がなかったといわれています。

6 商店街のそばの神様たち 竹下地祇神社・竹下恵比須神社

竹下地祇神社は、江戸時代からある竹下の氏神様で、埴安神(土の神)がまつられています。境内にある竹下恵比須神社は、商売繁盛の守り神として昭和33年に若宮(現・宮若市)より竹下の商店街に迎え、平成15年に当地に移されたものです。

4 濠で囲まれた国内最古級の集落 環濠集落跡 (市史跡那珂遺跡)

稲作がはじまった弥生時代はじめごろ(2,500年以上前)の環濠集落跡です。那珂遺跡の環濠*は二重できれいな円形に巡ることが特徴で、国内最古級になります。

*環濠:外敵から村を守るため、集落のまわりに巡らせた溝や堀